



おりひがっこ

子どもたち一人一人が笑顔で過ごす学校をめざして



あいさつ運動の取組

6月12日(月)より、5・6年生の運営委員会の児童が、毎週月曜日と水曜日を中心に、朝の「あいさつ運動」を実施しています。運営委員会の児童は、東門(正門)、西門の2か所に分かれ、「あいさつ運動」と書かれたタスキをして、「なくそういじめ ふやそう笑顔」の横断幕、「めぞう!あいさつ日本一」ののぼりを持って、登校してくる児童一人一人に大きな声で「おはようございます」と声かけを行っています。そのおかげで、あいさつの意識が高まり、大きな声であいさつできる子ども達も増えてきています。あいさつ運動をしている児童に感想を聞いてみると、①「あいさつするのに勇気がいったけど、あいさつを返してくれたらすごくうれしい」、②「あいさつをして、あいさつが返ってこなかったらとてもさみしい」というものでした。運営委員会の児童はあいさつ運動を通して、あいさつの大切さを学んでいるようです。

子ども達の感想①②について、ご家庭でも話題にさせていただけるとありがたいです。

あいさつは人を大切にし、ふれあいの輪を広げます。学校全体であいさつの花が咲き、明るく元気な、あいさつのあふれる学校になってほしいと思います。



東門のあいさつ運動



西門のあいさつ運動



臨時休校から考えること

先週は、二度も臨時休校の措置をとりました。一度目の臨時休校は、台風3号が九州を直撃することが予測できたので、前日に休校することをプリント、いっせいくんにてお知らせできました。二度目は、予測できない突然の大雨で、当日の午前6時30分頃にいっせいくんの配信だけで、休校のお知らせをいたしました。朝早くのお知らせにもかかわらず、各ご家庭において、冷静に対応していただき、本当にありがとうございました。

私は明け方早く、まだ暗いうちに学校に到着しましたが、学校に来るまでの間、大雨でワイパーが効かない、あちこちの道路が冠水していて、どこが道路かわからない、マンホールや側溝から水があふれ出ているといった状態で、非常に怖かったです。

本当に災害はいつ起こるのかわかりません。いざというときは、どうするのか?家族といるとき、家族といないときなど、いろいろな場面を想定して、話し合わないといけないと感じました。また、学校でも子ども達の命をどのように守るのか、改めて考える機会となりました。

